



会派みどり
木下八重子

合同墓について

【質問】 平成30年第2回定例会で質問のあった合同墓について、「市民からの合同墓に関する要望、相談が昨年度1件という状況であり、現時点で直ちに設置する考えはありません。」という答弁があったが、私には市民から数件の設置の要望があった。道内でも多くの市が設置または設置を決定しており、近隣では、砂川市と深川市が設置して利用している状況となっている。

本市の今後の合同墓の方向性について、市長の考えを伺う。

【答弁】 今年度、道内35市の合同墓の設置状況を調査したところ、22市がすでに合同墓を設置済み、または設置を決めているという結果でした。また、合同墓に関する市民からの要望ですが、昨年度は1件、今年度は現時点で6件寄せられています。

市としては、他市の設置状況や

潜在的なものを含めた市民の要望を踏まえると、合同墓の必要性を感じているところでありますが、市の施策としての緊急性や優先度を見ながら、慎重に判断していきたいと考えています。

自転車を活用したイベントについて

【質問】 自転車観光の推進を目指す全国組織「自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会」の設立総会が開かれ、本市も加盟している。本市には丸加高原健康の郷の牧歌的な風景や菜の花の風景など魅力ある自然風景がたくさんあるが、自転車を活用した広域観光について今後の考えを伺う。

【答弁】 昨年の11月15日に設立された「自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会」に本市も加盟し、道内加盟21市町村と情報共有を図り、自転車観光の効果的な事業を検討していきます。また、スウィーツライドin北・中そらちの広域連携事業を進める中で自然環境や施設の活用を検討していきます。



会派清新
東元勝己

寄贈された岩橋英遠の関連資料の取り扱いについて

【質問】 日本画家・岩橋英遠の相模原市の自宅に残されていた代表作や下絵スケッチ、自宅アトリエで使用していた机、岩絵の具など貴重な品々338点が、購入または譲り受けたNPO法人岩橋ふるさと北辰振興会から本市へ寄贈されました。市長は「美術自然史館のスペースを使って岩橋英遠氏のアトリエを再現できたらすばらしい」と話しています。どのようにアトリエを再現し、資料の公開を想定しているのかを伺う。

【答弁】 NPO法人岩橋ふるさと北辰振興会より寄贈いただいた日本画およびスケッチ帳をはじめとする遺作品などは、文化勲章受章画家である岩橋英遠の芸術を理解するための第一級資料です。本市としてもこれら資料を岩橋英遠芸術振興のために、今後有効に活用していきたいと考えています。

来年度に向けて特別展の開催を検討しており、寄贈を受けた日本初公開となる作品・資料などを展示するほか、アトリエの様子を会場内に再現し、皆さんに今まで知られていなかった岩橋英遠の創作過程も紹介する予定です。特別展後も2階ギャラリーの一部に特別展で再現したアトリエを移設することも検討しています。

岩橋英遠ゆかりの家の保存・修復について

【質問】 江部乙町にある岩橋英遠ゆかりの家は、昭和初期に建築されたため建物の傷みが進んでいる。岩橋英遠ゆかりの家の保存・修復について伺う。

【答弁】 日本画家・岩橋英遠は、美しい江部乙の自然の中で育ちました。岩橋英遠ゆかりの家も美しい景観の一部となり、江部乙丘陵地の景観を担っています。しかし、その家屋は個人所有の建物のため、保存・修復・活用については地域で活動されている皆さんの英知を結集して取り組んでいただく中で、本市としても地域振興の一環として協力したいと考えています。